

電波時計 取扱説明書 (ベル+電子音目覚まし時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造
発売元 **リズム株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
https://www.rhythm.co.jp

(Y2007)

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、当社お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

●修理部品の保有について

電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただきます。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。
Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先 **お客様相談室** **0120-557-005**

(フリーダイヤル)
受付時間 9:00~17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

お問い合わせに際しては、時計裏面に表示してあります製品番号(型番)をお伝えください。例 4RK○○○

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ○は、禁止(してはいけないこと)を示しています。

Ⓛは、指示する行為を必ず守ることを示しています。

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

! 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

! 電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れない。

! 梱包用のポリ袋をかぶらない
窒息する恐れがあります。

! 電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない

●目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。

●電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

! 電池の⊕⊖を正しく入れる
液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。

! 強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。

! 浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない
さびや故障の原因になります。

! めれた手でさわらない
さびや故障の原因になります。

! 分解や改造をしない
けがや故障の原因になります。

! 下記のような場所では使わない
性能の低下や部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器からの風が当たる所。
- 温度が-10℃以下または+50℃以上の所。
- 火気のそば。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を生じさせる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 幼児の手が届かない所に置く。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。

■電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

■電池の寿命について

- 付属の電池は、お試用として工場出荷するときに入れてありますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- 温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなる場合があります。
- 買い置きした電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなる場合があります。

電池・時計の廃棄

- お住まいの地区自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はセロハンテープなどで絶縁してください。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水ですすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

CITIZENの商標は、シチズン時計株式会社のライセンスに基づき使用されています。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してはならん責任を負いかねますのでご了承ください。

GUARANTEE 保証書

※印は販売店記入

取扱説明書にそった正常な使用状態において、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計お買い上げの販売店にご持参ください。無料修理・調整いたします。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保管してください。保証書は再発行いたしません。

※販売店印(住所、店名、電話番号)

※品名・型番

※保証期間

お買い上げ 年 月 日より 1年間

お客様
ご氏名

ご住所

TEL() -

- ネット通販をご利用の場合は、レシートや領収書を添付してください。
- 部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。
- この保証書は国内のみ有効です。This guarantee is valid only in Japan.
- ご購入いただきました個人情報(は、時計の修理・調整に関するご連絡に利用させていただきます。

■販売店の方へ

この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

保証について ※送料・出張料は、実費をいただきます。

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。

1. 保証書のご提示がない場合。
2. 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
3. お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
4. お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障または損傷。
5. 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
6. お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
7. ご使用中に生じる外観上の変化(ケース、ガラスなどの小キズ)
8. 電池の交換

電波時計について

電波時計とは

クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。

(http://jjy.nict.go.jp)

※アドレスは変更になる場合があります。

標準電波の送信停止について

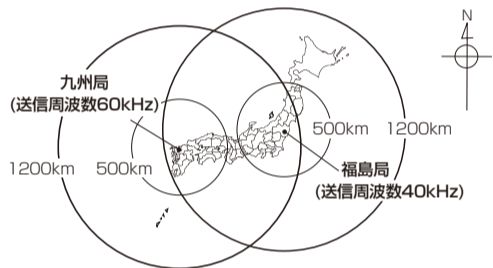
送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外でのご使用になるときは、電波受信機能をOFFにして手動で日時を合わせてください。ONのまま使用すると、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

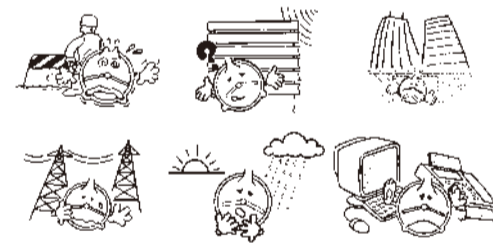


この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの中、ビルの谷間、地下
- 高压線、テレビ塔、電車の架線近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く



おもな製品仕様

使用温度範囲 -10~+50℃
時間精度 標準電波受信直後の表示精度 秒針±1秒 時分針 目盛りに対して±3度
標準電波を受信しない場合 平均月差±20秒(常温中のクォーツ精度)

アラーム精度 表示時刻に対して0秒
推奨電池 単3形アルカリ乾電池(JIS LR6) 4個
電池寿命 約1年 受信に成功し、1日7時間秒針停止
アラーム:30秒/日 ベル音小を選択したとき
照明:照明スイッチが「暗」で7時間/日 使用

アラーム ベル音または電子音
スヌーズ アラーム音が約5分間の一時停止
オートストップ アラーム音が連続5分で自動停止
照明 明暗センサー連動して点灯 明るさ2段階

明暗センサー :明るさを感知し、暗くなると秒針を12時位置に停止し、文字板面を照明
確認音 :操作を短いアラーム音で知らせる
電池を入れたとき
アラームスイッチをONにしたとき
強制受信ボタンを押して受信を開始したとき

標準電波
受信局自動選択 福島局40kHz/九州局60kHz
電波受信機能ON/OFF切替
自動受信 最少 1回/日 最多 6回/日
受信状態により、受信回数は変化します。
受信開始時刻
2時16分20秒 3時16分20秒 4時16分20秒 12時16分20秒 13時16分20秒 14時16分20秒
スヌーズボタンを押して受信確認音が鳴ると受信成功。

※付属の乾電池(マンガンまたはアルカリ)は、動作確認のためのお試用です。工場出荷時に同梱してありますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。使用する電池は、お試用電池の種類に関わらず、「おもな製品仕様」に記載の推奨電池をお求めください。

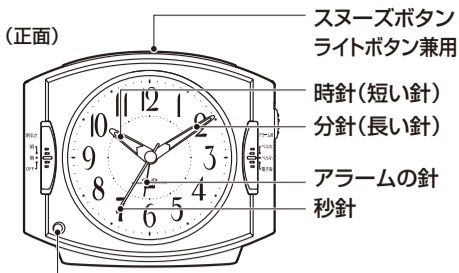
※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の推奨電池に交換した場合に適用となります。

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

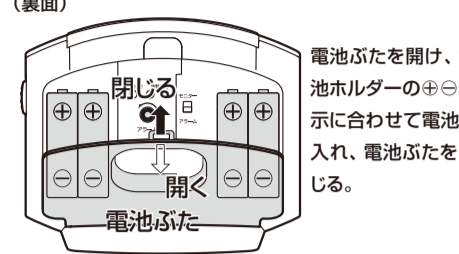
付属品 お試用電池 4個、 保証書・取扱説明書 本書

1 電池を入れて時刻を合わせる

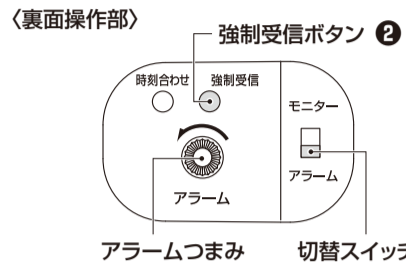
◎図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。



「電池の入れ方」①



電池の⊕⊖を逆向きに入ると、電池の発熱・破裂・液もれの原因になります。

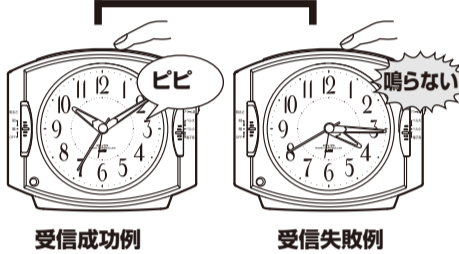


【受信の流れと結果の確認】



4、8、12時のいずれかの時刻に移動します。移動後、針が停止して受信を開始します。

最長15分後に受信終了
スヌーズボタンを押して受信結果を確認する。



受信確認音は25時間以内に、受信に成功しているときに鳴ります。

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせる際には、**電波を受信できない場合**の「手動での時刻の合わせ方」をお読みください。

電波を受信しやすい窓際などに置いてください。

① 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて**単3形アルカリ乾電池(推奨)**を4個入れる
確認音が鳴ります。
▶電池を入れる順番によっては、確認音が鳴りません。

② **強制受信ボタン**を押す
確認音が鳴り、針が動き出し、4、8、12時のいずれかに停止します。
電池を入れた後は、誤作動防止のため**必ず強制受信ボタン**を押してください。

③ 受信を終了するまで待つ
2～15分後に受信が終了し、時計針・分針・秒針が早送りで時刻を指します。
○受信中は、操作ボタンには触れないでください。

④ **スヌーズボタン**を押して受信結果を確認する………【受信の流れと結果の確認】参照
受信に成功した場合、受信確認音が鳴ります。失敗した場合は鳴りません。
受信に失敗した場合は、

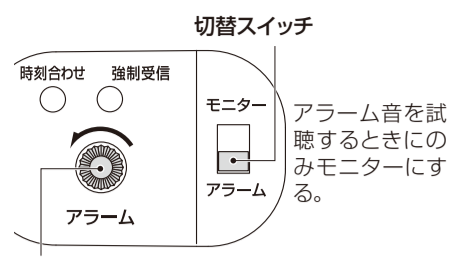
電波を受信できない場合を参照。

◆受信に失敗した場合、表示されている時刻は正しくありません。

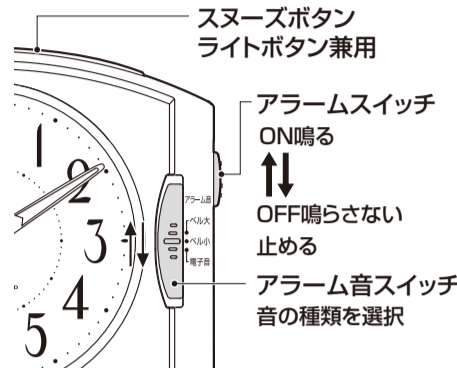
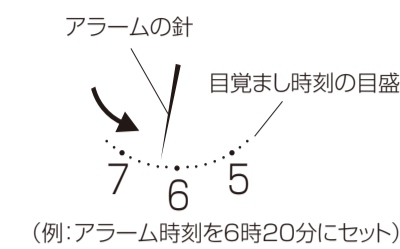
◆受信が成功しているのに、時刻が正しくないときは、ノイズにより誤受信した可能性があります。強制受信ボタンを押して、再度受信させてください。

- 確認音は、電池を入れたとき、強制受信ボタンを押したとき、アラームスイッチをONにしたときに鳴ります。
ベル音:「リン」 電子音:「ビ」
- 受信確認音は、標準電波の受信に成功しているときに、スヌーズボタンを押すと鳴ります。
ベル音:「リリ〜ン」 電子音:「ビビ」
- ※音は、アラーム音スイッチの設定に従います。
- ※受信確認音は暗いところでは鳴りません。

2 アラーム機能の使い方



アラームつまみ **必ず矢印方向に回す**



■スヌーズボタンについて

スヌーズボタンには3つの機能があります。

① **スヌーズ機能 (アラーム音を一時的に止める)**

アラームが鳴っているときに押すと、約5分間アラーム音が停止します。この機能は、アラーム設定時刻から20～50分間繰り返し使えます。アラーム音を完全に止めるにはアラームスイッチを「OFF」にします。

② **文字板面照明機能**

スヌーズボタンはライトボタンを兼ねています。押し続けている間と離してから約4秒間文字板面を照明します。照明は自動照明より明るくなります。

③ **受信に成功している場合は受信確認音を鳴らす**

25時間以内に電波の受信に成功しているときには、スヌーズボタンを押すと受信確認音が鳴ります。
●暗いところでは受信確認音は鳴りません。

■アラームオートストップ機能

鳴っているアラームを放置すると、約5分間鳴り続けて自動的に止まります。

アラームスイッチは「ON」のままです。

アラームご使用上の注意

- アラームスイッチをONにしたままでは、毎日午前と午後の2回アラームが鳴りますので、使用しないときは、OFFにしてください。
- アラームを長期間使用しませんが、ベル音の鳴りが悪くなる場合がありますので、2～3か月に1回、約1分ぐらい鳴らすことをおすすめします。

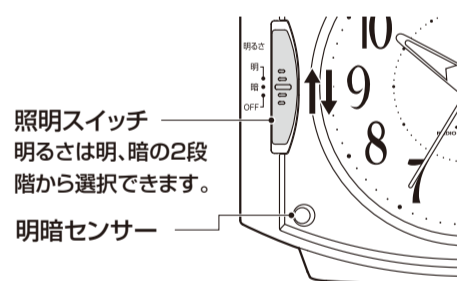
トラブル? アラームが鳴らない

- アラームつまみを回して、現在時刻に合わせたアラームが鳴らない。
- 時刻合わせボタンを操作してアラーム時刻に合わせたアラームが鳴らない。

このようなときは、アラームスイッチを一度「OFF」にしてから「ON」にするとアラームが鳴り出します。

アラームつまみや時刻合わせボタンを操作してアラーム音を試聴するときには、アラームスイッチを「OFF」にしてから操作し、その後アラームスイッチを「ON」にするとアラームが鳴り出します。

3 自動照明の使い方



明暗センサーと連動して、暗くなると文字板面を照明します。明るさは、明、暗の2つから選択することができます。OFFにすると暗くても点灯しません。

⑤ **明暗センサーのはたらき** 参照。

- 標準電波を受信しているときは、受信しやすくするために消灯します。

Ⓐ 電波受信機能のON/OFF操作

受信機能 OFF (無効にして手動で時刻を合わせる)

強制受信ボタンを連続して4回押してください。
強制受信ボタンを押すタイミングは、**確認音が鳴り始めたらずくに押してください。**
受信機能がOFFになると、**強制受信ボタンを押しても確認音が鳴りません。**
▶時刻は手動で合わせてください。

受信機能 ON (有効にして受信を開始する)

時刻合わせボタンを押しながら、**強制受信ボタン**を押してすぐ離し、その後**時刻合わせボタン**を離します。確認音が鳴り、照明ランプが点滅します。この後、**必ず強制受信ボタン**を押して**受信を開始させてください。**

アドバイス

受信機能をOFFにするときは、確認音が鳴り始めたらずくに強制受信ボタンを押す操作を確認音が鳴らなくなるまで繰り返してください。

○この説明の中で「押す」は「押してすぐ離す」ことを意味しています。

○工場出荷時の設定は、受信機能はONになっています。

○操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。

○受信機能がOFFのときに電池を取り出しても長い時間設定を保持します。受信機能をONにするには、上記の説明に従って操作してください。

○受信機能がOFFのときに強制受信ボタンを押すと早送りでおよそ12時間分動き、その後、通常の時刻表示になります。

蓄光性夜光塗料(ナチュライト)について

- ナチュライトは紫外線を含んだ光(例 蛍光灯)により励起され発光します。白熱電球などは紫外線が少ないため光源としては適していません。
- 発光時間は、60ワット以上の蛍光灯の光を1.5m以内で30分以上直接当てた場合、8時間程度お手元で発光が確認できます。
- 蓄光の特徴として時間の経過とともに明るさが低下します。
- 目視による発光の確認は、視力などの個人差、周囲の明るさ、時計との距離などにより影響を受けます。
- 目が暗闇に慣れるまで、発光の確認がしにくいことがあります。

静電気の影響について

静電気の影響により、正常に動かなくなることがあります。このようなときには、**強制受信**を押してください。

③ 明暗センサーのはたらき………秒針の停止と自動照明

明暗センサーが暗いと判別したときは、

- ①秒針が12時位置に停止します。
 - ②文字板面を照明します。**③ 自動照明の使い方** 参照
- 昼間や夜間室内灯が点灯した環境でも、明るさが不足するとセンサーが反応します。

Ⓒ 電池の交換時期お知らせ機能

十分に明るいところで、秒針が12時位置に停止しているときは[※]、**電池の交換時期**です。指定の電池に速やかに交換してください。そのまま放置した場合、電池からの液もれが発生し、故障や家具などを汚す原因になります。

- 交換時期のお知らせを開始してから1ヵ月程度は動き続けます。
- 電池の交換時期になると**ライトボタン**を押しても**照明が点灯しません。**
- ※強制受信ボタンを押して、受信しているときを除きます。

⚠ 注意 電池の交換 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

電池からの液漏れにより、時計の修理や家具の修繕などに費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことをお守りください。

- 時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 時計が動いていても1年に1回定期的に交換する。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。
- 電池の⊕⊖を指示と逆向きに入れない。

